

平成19年6月22日

学 生 各 位

教務委員長

平成19年度M1・M2基礎統合講義 特別講義
アーサー、ロージャー、トム・コーンバーグ3氏講演会について

7月23日（月）午後1時から3時20分までの予定で、安田講堂においてDNAポリメラーゼ研究で1959年ノーベル賞を受賞したアーサー・コーンバーグ氏、アーサーの長男でRNAポリメラーゼ研究で昨年のノーベル賞を受賞したロージャー・コーンバーグ氏、次男で発生研究の第一人者でUCSFの教授であるトム・コーンバーグ氏の3氏による講演会が開催されます。

アーサーは医学部卒業後、船医としてビタミンの必要性を実感した頃から生化学研究の原点がはじまり、90歳近い現在でも現役で研究を行っています。ロージャーは子供の頃から研究室に出入りし、20代でクロマチンのヌクレオソームモデルを提案し、トムはジュリアードでチェロ演奏家を目指した後、生命科学者に転身しました。

このようにまったく異なるキャリアパスを経てそれぞれ第一線の研究者となった3人に、その研究観について講演を行っていただきます。

医学部としては、昨年のポール・バーグ氏と同様に、23日（月）の講演会を基礎統合講義の一環としますので、M1・M2の学生は出席するようにしてください。

なお、この日はフリークオーターの実施期間中ですが、フリークオーターを登録している学生も、欠席扱いとはしません。

※ 翌24日（火）にも、鉄門記念講堂、弥生講堂、医科研1号館講堂において3氏それぞれの講演会が開かれますので、関心のある学生は出席するようにしてください。